

衣類バンクに Tシャツ寄贈

アパレルのANAP

カジュアル衣料の輸入・販売・卸売事業を展開するANAP（東京都港区南青山、家高利康社長）は、県社会福祉協議会（県社協、山口宏樹会長）が県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会と共同実施している「衣類バンク事業」に、Tシャツなどの衣類と髪



県社協の上木雄二副会長（右）から感謝状を受け取るANAPの福田内勝総務部長（東京都港区のANAP本社）（提供写真）

留めを寄贈した。県社協からは感謝状が贈られた。

寄贈は、以前に衣類の寄付を行ったことがあるむさし証券（さいたま市大宮区）の紹介で実現。衣類バンク事業に賛同したANAPが未使用衣料品など約900点を提供した。

感謝状の贈呈には同社の竹内博専務、福田内勝総務部長らが出席。県社協の上木雄二副会長が感謝状を贈った。竹内専務は「子どもたちに喜んでいただけるよう寄付を継続したい」と定期的な衣類バンクへの協力を約束した。

県社協は「衣類の在庫が少なくなっているため、自宅に眠っている新品や未使用の子ども服があれば寄付してほしい」と呼びかけている。

問い合わせは、県社協生活支援課（☎048・822・1249）へ。

（高梨肇）